

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.1 TWIN RING MOTEGI



ST600
#71 Daiki Uehara

JP250
#71 Kiyoshi Akama

HONDA

HRC

BRIDGESTONE

MUSASHI

Arai
HELMET

YAMAMOTO
TAMAMOTO

NGK
SPARK PLUGS

eif

TGK

ACTIVE
Rev and Ride It!

RK
TAKASAGO CHAIN

SUNSTAR

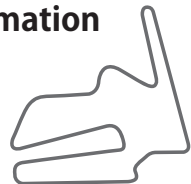
KRS

SIGNET

■ Mistresa RT HARC-PRO. Media Information

2018 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦
TWIN RING MOTEGI SUPERBIKE RACE

栃木県・ツインリンクもてぎ (1周=4.801379km)
観客動員数：13,300人 (2日間合計)



ST600 クラス
#71 上原 大輝

マシン：Honda CBR600RR タイヤ：BRIDGESTONE
予選：11番手 (タイム：2分04秒578)
決勝：11位

MFJ CUP JP250 国際クラス
#71 赤間 清

マシン：Honda CBR250RR タイヤ：DUNLOP
予選：22番手 (タイム：2分30秒450)
決勝：DNC



昭和電機では全日本ロードレースをより一層盛り上げるべくチームやメーカー、クラスを越えて各クラスのゼッケンナンバーが「71」のライダーとチームを応援する71プロジェクトを発足いたしました。

71プロジェクトでは、応援ツアーの開催や公式プログラムへの広報記載、応援グッズの配布、ピットウォーク時のスタンプラリーなど、様々な企画を計画しております。各クラスで#71を付けたチーム・ライダーのご声援をよろしくお願いいたします！

<http://mistresa-71.com>



JSB1000
Team KAGAYAMA
#71 加賀山 就臣 選手

J-GP2
TONE RT SYNCEDGE4413
#71 三原 壮紫 選手

J-GP3
Team P.MU 7C MIKUNI
#71 小室 旭 選手

ST600
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 上原 大輝 選手

JP250
Mistresa RT HARC-PRO.
#71 赤間 清 選手

ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP

2018 Round.1 TWIN RING MOTEGI

ST600 #71 Daiki Uehara JP250 #71 Kiyoshi Akama



Mistresa RT
HARC-PRO

広報社員選手 上原を起用。71 プロジェクトも始動！



2014年に小林龍太をサポートし、ST600クラスチャンピオンに輝いてから早くも5年目に突入した昭和電機の全日本ロードレースプロジェクト。2018年シーズンも若手育成を主にMistresa RT HARC-PRO.としてST600クラスに、昨年MFJ CUP JP250国内クラスチャンピオンとなった上原大輝を起用。昨年、Mistresa RT HARC-PRO.から参戦していた名越哲平は、本家でもあるMuSASHI RT HARC-PRO.に加入しJ-GP2クラスに参戦する。上原と名越は、プロアスリートとして将来有望ということで正社員雇用し「昭和電機知ってもらおうプロジェクト広報社員選手」として活動する。



また昭和電機では、全日本ロードレース選手権を、より盛り上げるために、チームやメーカー、クラスの垣根を越え各クラスのゼッケン「71」のライダーとチームを応援する「71プロジェクト」を発足。開幕戦となった今回は、早速ツアーを企画し、グランドスタンドの一角でライダーを応援。決勝日には、ライダーたちがツアーの皆さんに挨拶に伺い、交流する機会も設けた。

今年から国際ライセンスに昇格し、全日本にデビューする上原だがJP250からST600へのスイッチは並大抵のことではない。3月に入ってから走り始め、筑波ロードレースにも実戦テストとして参戦するが、まだまだ全日本レベルに達していなかった。事前テストも天候に恵まれず、タイムも出せていなかった。一方、ベテランの赤間は、J-GP2

からJP250にスイッチ。これまでと同じく赤間スタイルで一つでも上位を狙って行く。



開幕戦ということで木曜日の特別スポーツ走行があり、通常より一日早くレースウィークはスタート。JP250の金曜日の1本目は、前日の雨のためウエットパッチがあったが、他はドライで走ることができ、2人ともマシンを理解しながらセッティングを進めていった。

JP250は、土曜日に予選と決勝が行われた。この日は、朝から雨模様となり気温も上がらず肌寒い一日となる。このレースウィークで初めてウエットとなった予選。赤間はCBR250RRで初めてウエットを走るだけに慎重にタイムを縮めて行く。ST600の予選のころには、雨は止んでいたが、路面はウエットから乾いて行く方向だが、多くのライダーは、レインタイヤでアタックしていく。上原は、ベテラン選手の後ろに、うまくつき11番手とデビュー戦にしては、まずまずのグリッドを獲得した。



JP250 #71 Kiyoshi Akama

土曜日の夕方に行われたJP250の決勝。雨は時折パラつき、路面温度も低く難しいコンディションの中、レースはスタートした。好スタートを見せた赤間だったが、直後の3コーナーで目の前に他車が出て来たため、これを避けるラインを取ったところ予想以上にマシンがスライドしてしまい痛恨のクラッシュ。ピットに戻りマシンを修復して再びコースインするものの完走扱いにはならなかった。

日曜日は、朝から青空が広がった。ST600クラスは、この日最後の決勝として行われた。上原は、オープニングラップで20番手まで順位を落とすものの混戦の中で粘り強い走りを見せる。周回毎にポジションを上げて行き12周目には、10番手までポジションアップ。一つ順位を落とすものの全日本ST600クラスデビュー戦を11位で終えたのだった。



ST600 #71 Daiki Uehara

■上原大輝コメント

「まずは、Mistresa RT HARC-PRO.から全日本ST600クラスに参戦できるチャンスをくださったことを感謝いたします。まだまだ勉強することばかりですが、チームの皆さんの助けもあり、開幕戦を完走することができました。ここを足がかりに、もっと上を走れるように努力して行きたいと思っています。昭和電機の広報社員選手としても、一人でも多くの方に、昭和電機のことを、レースのことを知っていただくためにできることからやっていこうと思います」

■赤間 清コメント

「今シーズンは、JP250クラスにスイッチすることになりましたが、まだまだマシン面でもライディング面でも改善していかなければならない部分があります。決勝結果は残念でしたが、次戦以降、もっと練習し、上位を目指すことができるように準備したいと思います。今年もMistresa RT HARC-PRO.の一員として走れることを誇りに頑張りますので、応援よろしくお願いたします」



このリリースのお問い合わせは
昭和電機株式会社 営業推進部 sales@showadenki.co.jp